

企画セッション

◆ アジア特許情報の最新動向 ◆

【セッションの内容】

■ パネリスト

大熊 靖夫 JETRO バンコク事務所 知的財産部長
西内 盛二 北京北翔知識産権代理有限公司 高級顧問 弁理士
田畑 文也 富士フイルム株式会社 知財技術部

(モデレーター)

伊藤 徹男 アジア特許情報研究会・代表

(総合司会)

都築 泉 大阪工業大学 知的財産研究科 准教授

■ 内容

アジア、特に中国については全産業分野で、また、台湾、韓国についてはエレクトロニクスをはじめとする光・電子材料分野で日本の各企業の視線が注がれており、これら東アジアを取り巻く知財情勢も、これまでの模倣品対策から権利確保、権利実施の方向に向かいつつある。

一時は中国出願の誤訳問題が焦点となったが、知財情報をめぐる話題はこの1、2年で大きなうねりとなって各国特許庁および関係機関より発信されている。

ところがこのような知財情報の収集源である商用英語データベースのアジア関係の収録は、中国についてはここ2、3年で大幅な改善がされつつあるものの、台湾や韓国および新興国については惨憺たるものである。しかし、欧米を基軸に動いてきた知財情報も全産業がアジアにシフトしているのに商用英語データベースの収録が追いついていない現状を多くの知財関係者は気づいていない。

そこで、本セッションでは、これらアジアの知財情報に焦点を当て、最新動向について話題を提供していただいたのち、これら話題について関係各位および参加者とのパネルディスカッションを通じて問題解決の糸口を見つけたい。

本セッションの構成

- ① セッション趣旨および各パネリストの紹介
- ② パネリストからの話題提供
 - ・ 東南アジア知財ネットワークについて
 - ・ 中国実用新案の活用状況
 - ・ 韓国特許情報の現状と問題点
 - ・ アジア・新興国の知財情報収集の現状と共有化
- ③ ディスカッション

以 上

企画セッション

◆ アジア特許情報の最新動向 ◆

【略歴】

- ・大熊 靖夫 JETRO バンコク事務所 知的財産部長
1997 年特許庁入庁。審査官、審判官のほか、在外研究員、国際課長補佐などを経て、2011 年 9 月より現職。物理学修士(筑波大学)、経営学修士(明治大学)、法学修士(ワシントン大学)。
- ・西内 盛二 北京北翔知識産権代理有限公司 所長高級顧問 弁理士
1997 年日本某化学メーカーにて研究開発に従事、その後、日本及び中国の特許事務所における勤務を経て 2008 年より現事務所にて勤務。2009 年より中国特許調査実務に従事。物理学士(高知大学)、化学修士(高知大学)。
- ・田畑 文也 富士フイルム株式会社 知財技術部
1992 年富士写真フイルム(株)(現 富士フイルム(株))入社。フルカラー感熱紙、プリクラ用シール紙、FPD 材料などの開発業務に従事し、2007 年より特許調査など、調査業務に従事し、現在に至る。趣味の東南アジア旅行を業務に生かし、各種言語を用いた多言語(ハイブリッド)検索を得意とする。2011 年度 JIPA 情報検索委員会委員(インド特許調査)。2008 年よりアジア特許情報研究会メンバー。
- ・伊藤 徹男 アジア特許情報研究会・代表
J S R 株式会社で約 30 年間、主としてメディカル材料の開発に携わり、1999 年知的財産部へ移籍。2009 年定年退職。
2004 年以降現在まで、日本知的財産協会、発明推進協会、日本パテントデータサービスなどの特許情報関係研修講師を務める。
2008 年「アジア特許情報研究会」を発足。知財情報研究活動を開始。
2010 年 8 月～：三菱化学テクノロジーリサーチ客員研究員
- ・都築 泉
大阪工業大学 知的財産研究科 准教授
1980 年丸善(株)に入社、その後、青山特許事務所、(株)KMK デジテックス、(株)ジー・サーチにおいて、それぞれ国内・国外の特許を含めた多様なデータベースサービスおよび調査実務等に関わり、2005 年より現職。理学博士(京都大学)。

以 上